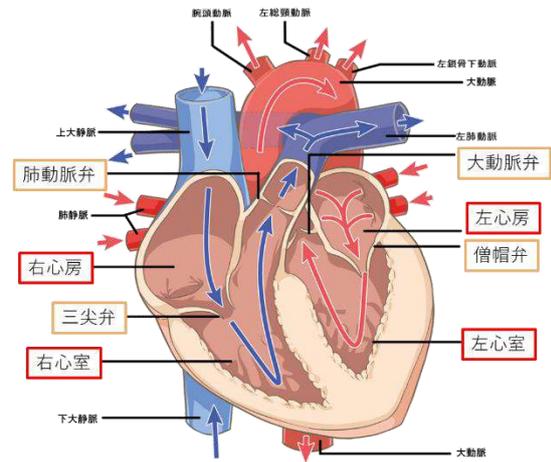


心臓弁膜症について

心臓は胸の中心やや左側に位置する臓器で、**右心房、左心房、右心室、左心室**の4部屋で構成されます。心臓はポンプの役割で、それぞれの部屋を隔てる**心臓弁**を効率よく開け閉めして、肺および全身に血液を送り出しています。左心室は全身に血液を送り、入り口の弁は**僧帽弁**、出口は**大動脈弁**という名前がついています。右心室は肺に血液を送り、入り口の弁は**三尖弁**、出口は**肺動脈弁**といいます。弁が壊れてしまい効果的な開け閉めができなくなる病気が**心臓弁膜症**で、弁が十分に開かなくなる病気を**狭窄症**、弁の閉まりが悪くなる病気を**閉鎖不全症**といいます。心臓弁膜症は、自覚症状がみられたらすでに危険な状態である可能性があるため、早期発見、必要に応じた治療が重要です。内服薬などで症状の改善は期待できますが、根本的な治療としては外科手術か経カテーテル的治療が必要になります。



大事なこと

- ✓ 弁膜症と言われたら、その種類と重症度が大事（どの弁がどの程度調子が悪いか、治療が必要か）。
- ✓ 弁膜症は自然に治ることはない。心筋の障害が進行する前に治療する。
- ✓ 人によっては無症状なこともあるが、早期に治療を考慮したほうが良い場合もある。
- ✓ 弁膜症と診断されて症状がある場合は、手術もしくはカテーテル治療を検討する
- ✓ 手術もしくはカテーテル治療をすることで通常の日常生活を送れるようになる。
- ✓ 高齢との理由だけでは手術もしくはカテーテル治療を見送ることはない。

・心臓弁膜症の頻度

- ① 僧帽弁閉鎖不全症 (MR)：左心室入り口の僧帽弁が閉じず、左心室から左心房に血液が逆流する。
 - ② 大動脈弁狭窄症 (AS)：左心室出口の大動脈弁が狭くなり、左心室に大きな負担がかかる。
 - ③ 大動脈弁閉鎖不全症 (AR)：左心室出口の大動脈弁が閉じず、大動脈から左心室に血液が逆流する。
 - ④ 僧帽弁狭窄症 (MS)：左心室入り口の僧帽弁が狭くなり、左心房および肺に血液がたまる。
- ※ 三尖弁、肺動脈弁も問題になることがあるが、上記の疾患が多い。
 ※ しかし、2つ以上の弁に関して手術を行う連合弁膜症の手術は弁膜症手術の約25%を占める。
 その約80%が三尖弁と左心系弁膜症の組み合わせと報告されている。

・心臓弁膜症の原因

- ① 一次性（弁自体が原因）：加齢による変性、リウマチ熱の後遺症、先天性、外傷、炎症 など
- ② 二次性（他の病気が原因）：心筋梗塞、先天性心疾患、心房細動、大動脈疾患、心臓手術後 など

・心臓弁膜症に必要な検査（下記以外にもレントゲン検査、心電図検査などを行います）

- ① 聴診：心臓が収縮、拡張するときの雑音や特殊な音を聴取し、心臓弁膜症を疑います。
- ② 心臓超音波検査：必須の検査です。弁膜症の診断を行い、重症度や治療の可否を評価します。

検査、診断、治療の内容に関して詳しくは **心臓弁膜症 スライド【PDF】** をご覧ください。